

宝塚市議会報告

本気の力！市政を変える。VOL. 9

— 私たちのまちは、私たちでつくる。 —

〒665-0033 宝塚市伊子志 2 丁目 17-8-4F TEL & FAX: 0797-72-2130

Topic

- ご挨拶
- 9 月議会報告 (一般質問)
- 宝塚市土地取得について
- メルマガのご案内
- いとう順一プロフィール
- いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会から捻出し、政務活動費は使用していません。



宝塚市議会議員 **いとう 順一** (新風宝塚改革の会)

ご挨拶 9 月一般質問内容 (10/3 実施)

ようやく秋風が吹く頃になって参りましたが、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、9/6 に開会しました 9 月議会が 10/9 に閉会しました。今回も、新風宝塚改革の会という会派の代表として、産業建設常任委員会副委員長として、上下水道決算を始め様々な議案を、誠心誠意審査させて頂きました。

今議会においても、日本が世界に先駆けて直面している人口減少・超高齢社会を乗り越えて行くために、宝塚市として何をしていかなければならないのか？という事を主眼に、下記のように一般質問を実施致しました。

質問内容ですが、本年 6 月に第 30 次地方制度調査会の「大都市制度の改革及び基礎自治体の行政サービス提供体制に関する答申」が出され、その中で人口 20 万人以上の特例市について、保健所を設置すれば中核市並みの位置付けを与える方針が打ち出されました。

宝塚市は、阪神北地域において、唯一の特例市ではありますが、特例市のメリットは一般市とあまり変わりませんので、いち早く中核市への準備を進め、宝塚市が先頭に立って、近隣市や町と連携を取りながら、様々な分野で積極的に広域連携を図り、規模の利益を享受し、行政コストの削減を果たし、超高齢社会に備えるべきと考え、質疑を致しました。

また、高齢者と呼ぶには申し訳ない元気な 65 歳以上の方が、まだまだ働けるのに、多くの方が社会制度上リタイアされていますが、その方々に第 2 の人生を宝塚市内で、有償・無償を問わず仕事や市民活動をしていただける場所を作ることが重要であると考えます。

宝塚市は、大阪や神戸のベッドタウンとして、阪急今津線、宝塚線より山手部分に住宅開発がなされた結果、優良な住宅街としてのイメージを高め、宝塚歌劇のイメージも相まって、「憧れの街宝塚」としてのブランドイメージを築くに至りましたが、今後は終の棲家としてのまちづくりも着手して行かなくてはならないと考えます。

更に、宝塚市はイオンモールやガーデンズのような超大型店舗がありませんので、消費者を市外に取られ、まちづくりを失敗したと言われることがあり、実際に、大店法改正以来、市内各駅前商店街には厳しい状況になって久しいところです。

しかし、高齢化が進むことで、一極集中の大型店舗よりも各駅前を地域の核として、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス、高齢者向けビジネス、市民活動の拠点として駅周辺を考え直すことで、宝塚市のまちづくりは、実は成功だったと言えるようにして行かなくてはならないと考えます。

また、優良な住宅街として機能させ続けてゆくには、山手の住宅街と最寄り駅、或いは山手の住宅街の中の道路や交通の問題を考えて行かなくてはなりません。

そして、福祉やまちづくりや雇用対策を始め、様々な高齢者向け施策が、しっかり連携をしながら、高齢者に優しいまちづくりは、全ての人に優しいまちづくりになることを市政の中心として、進めていくことが重要であると考えるところです。

以上のような事を一般質問をさせて頂いた結果、各部署バラバラにされていた高齢化対策の施策を全庁横断的に、或いは広域連携で対処して行く体制を作るという答弁を得て、今回の一般質問の目的は達成されました。

ブログ随時更新中！ <http://jito.jp> (携帯でも閲覧できます)

いとう順一の活動や考え方を、週 3 日～4 日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。